

# メンテナンス手順説明書

## アングル型 Sno-Trik バルブ

MS-INS-SNOJ-E  
GP Revision C  
January, 1998  
D10P

### キット内容：

PTFE 製パッキンの場合：

グランド (2 個)

パッキン

潤滑剤

手順説明書

化学物質安全性データ・シート (MSDS)

Grafoil 製パッキンの場合：

グランド (2 個)

パッキン (2 個)

潤滑剤 (2 個)

手順説明書

化学物質安全性データ・シート (MSDS)

警告：システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。



- システム圧力の開放 (システムの圧抜き)
- バルブの開閉

警告：バルブやシステム内に残留物が見られる場合があります。

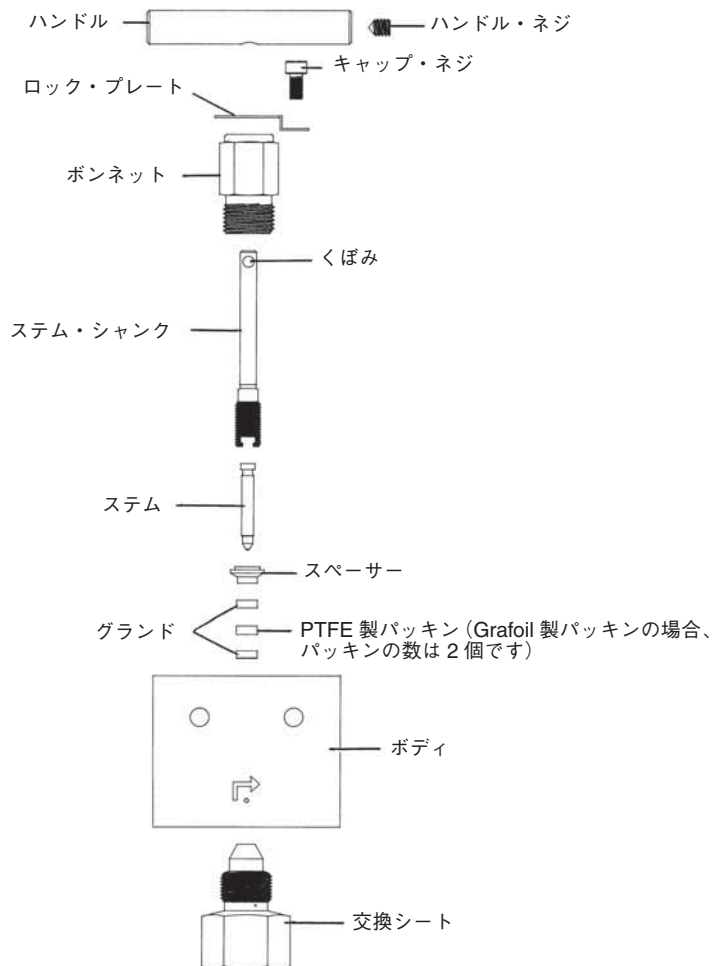
本説明書に従って作業を行う場合は、分解図を必ず参照してください。

1. キャップ・ネジを緩めてバルブ・ボディから取り外します。
2. ロック・プレートを持ち上げてボンネットから離します。
3. レンチを使用して、ボンネット・アセンブリーを緩めてバルブ・ボディから取り外します。
4. ロック・プレートをボンネットから取り外します。
5. ステム全体がボンネット・アセンブリーの底部から突き出るまでハンドルをまわして、ステムをステム・シャンクから取り外します。
6. ハンドル・ネジを緩めて、ハンドルをステム・シャンクから取り外します。
7. ステム・シャンクをボンネットから取り外します。
8. スペーサーをバルブ・ボディからゆっくと取り外します。
9. レンチを使用して、交換シートを緩めてバルブ・ボディから取り外します。
10. バルブをひっくり返した状態で固定し、グランドおよびパッキンをバルブ・ボディから押し出します。その際、ボディの内側にスクラッチ傷などの損傷を与えないようご注意ください。
11. グランドおよびパッキンを廃棄します。
12. ハンドル、ボンネット、ステム・シャンク、ステム、スペーサー、交換シート、ボディのクリーニングを行い、すべての汚れを除去します。
13. すべての部品について、磨耗や腐食がないか確認します。
14. ステム・シャンクのネジ部にキットに含まれている潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布し、ステム・シャンクをボンネットにねじ込みます。
15. ハンドル・ネジとステム・シャンクのくぼみの位置を合わせます。
16. ハンドルをステム・シャンクにセットし、ハンドル・ネジをくぼみにねじ込んで締め付けます。
17. ステム・シャンクの溝に潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布します。ステムをステム・シャンクの溝にセットします。
18. ハンドルをまわして、完全にステムをボンネット内に入れ込みます。
19. スペーサーの溝のある側をハンドルに向けて、スペーサーをステム上でスライドさせ、ボンネットの位置まで引き上げます。
20. 1 個のグランドを、面取りされている側をハンドルに向けてステムにセットします。  
Grafoil 製パッキンの場合：パッキンの全表面にキットに含まれている潤滑剤 (MS-LT-MPG) を塗布します。
21. 未使用のパッキンを、グランドに当たるようステムにセットします。
22. もう一方のグランドを、面取りされている側がハンドルとは逆の側を向くようにして、ステムにセットします。
23. ロック・プレートをボンネット・アセンブリーにセットします。
24. ボンネット・ネジ部に潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布し、ボンネット・アセンブリーをバルブ・ボディにねじ込みます。  
注意：ステム・チップに潤滑剤を塗布しないようご注意ください。
25. 下の表に記載のトルク値でボンネットを締め付けます。

バルブ・タイプ	トルク値 (N・m)
サワー・ガス (硫化水素) (-SG)	17.0
PTFE 製パッキン	33.9
Grafoil 製パッキン	39.6

26. キャップ・ネジをロック・プレートに差し込み、次にバルブ・ボディに差し込んで締め付けます。  
 27. 交換シートのネジ部に潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布し、シートをバルブ・ボディに差し込みます。  
 28. 下の表に記載のトルク値で交換シートを締め付けます。

バルブ・シリーズ	トルク値 (N・m)
410	28.3
445	28.3
645	45.2
945	73.5



# メンテナンス手順説明書

## ストレート型 Sno-Trik バルブ

MS-INS-SNOJ-E  
CP Revision C  
January, 1998  
D10P

### キット内容：

PTFE 製パッキンの場合：

グランド (2 個)

パッキン

潤滑剤

手順説明書

化学物質安全性データ・シート (MSDS)

Grafoil 製パッキンの場合：

グランド (2 個)

パッキン (2 個)

潤滑剤 (2 個)

手順説明書

化学物質安全性データ・シート (MSDS)

警告：システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。



- ・システム圧力の開放 (システムの圧抜き)
- ・バルブの開閉

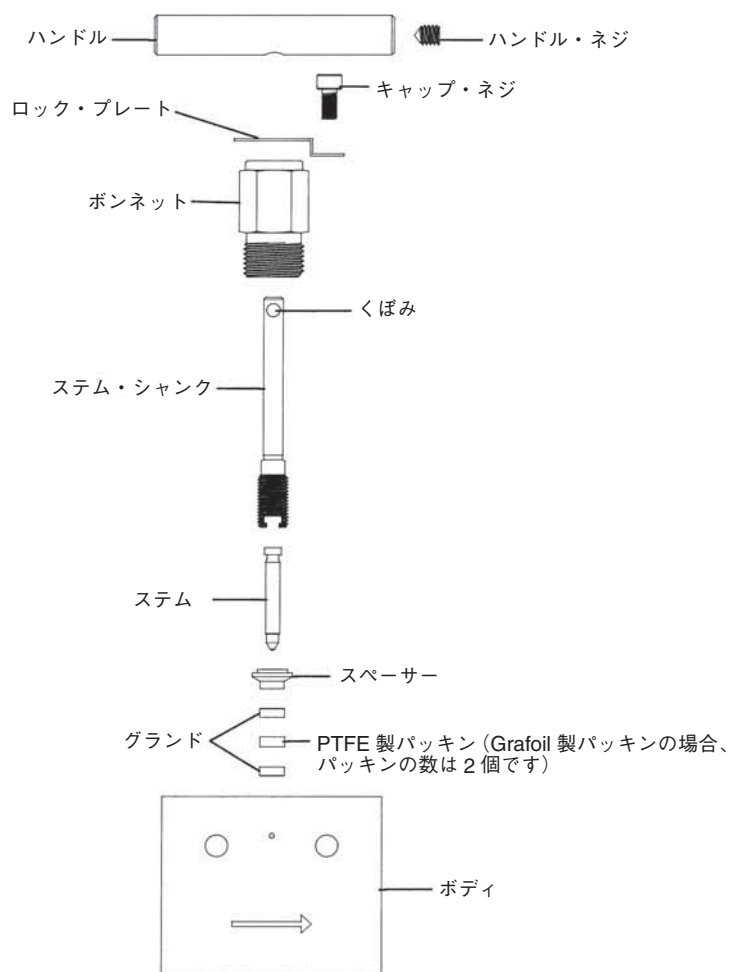
警告：バルブやシステム内に残留物が見られる場合があります。

本説明書に従って作業を行う場合は、分解図を必ず参照してください。

1. キャップ・ネジを緩めてバルブ・ボディから取り外します。
2. ロック・プレートを持ち上げてボンネットから離します。
3. レンチを使用して、ボンネット・アセンブリーを緩めてバルブ・ボディから取り外します。
4. ロック・プレートをボンネットから取り外します。
5. ステム全体がボンネット・アセンブリーの底部から突き出るまでハンドルをまわして、ステムをステム・シャンクから取り外します。
6. ハンドル・ネジを緩めて、ハンドルをステム・シャンクから取り外します。
7. ステム・シャンクをボンネットから取り外します。
8. スペーサー、グランド、パッキンをバルブ・ボディからゆっくと取り外します。その際、ボディの内側にスクラッチ傷などの損傷を与えないようご注意ください。
9. グランドおよびパッキンを廃棄します。
10. ハンドル、ボンネット、ステム・シャンク、ステム、スペーサー、ボディのクリーニングを行い、すべての汚れを除去します。すべての部品について、磨耗や腐食がないか確認します。
11. ステム・シャンクのネジ部にキットに含まれている潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布し、ステム・シャンクをボンネットにねじ込みます。
12. ハンドル・ネジとステム・シャンクのくぼみの位置を合わせます。
13. ハンドルをステム・シャンクにセットし、ハンドル・ネジをくぼみにねじ込んで締め付けます。
14. ステム・シャンクの溝に潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布します。ステムをステム・シャンクの溝にセットします。
15. ハンドルをまわして、完全にステムをボンネット内に入れ込みます。
16. スペーサーの溝のある側をハンドルに向けて、スペーサーをステム上でスライドさせ、ボンネットの位置まで引き上げます。
17. 1 個のグランドを、面取りされている側をハンドルに向けてステムにセットします。  
Grafoil 製パッキンの場合：パッキンの全表面にキットに含まれている潤滑剤 (MS-LT-MPG) を塗布します。
18. 未使用のパッキンを、グランドに当たるようステムにセットします。
19. もう一方のグランドを、面取りされている側がハンドルとは逆の側を向くようにして、ステムにセットします。
20. ロック・プレートをボンネット・アセンブリーにセットします。
21. ボンネット・ネジ部に潤滑剤 (MS-LT-CP29) を塗布し、ボンネット・アセンブリーをバルブ・ボディに取り付けます。ステム・チップに潤滑剤を塗布しないようご注意ください。
22. 下の表に記載のトルク値でボンネットを締め付けます。

バルブ・タイプ	トルク値 (N・m)
サワー・ガス (硫化水素) (-SG)	17.0
PTFE 製パッキン	33.9
Grafoil 製パッキン	39.6

23. キャップ・ネジをロック・プレートに差し込み、次にバルブ・ボディに差し込んで締め付けます。



この日本語版手順説明書は、英語版手順説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok

[www.swagelok.co.jp](http://www.swagelok.co.jp)

Swagelok — TM Swagelok Company  
 ©1988, 1994, 1998 Swagelok Company